

技能実習生
47都道府県プロフィール（Ⅱ）

熊本県

在熊本ベトナム人協会が発足、ベトナム人増加で 国籍別県内最多に

2022/4/26

熊本県内に暮らすベトナム人の技能実習生や留学生のために、生活相談や支援を行う「在熊本ベトナム人協会」が24日、熊本市に発足した。在福岡ベトナム総領事館によると、熊本県でベトナム人による同国公認の団体が設立されるのは今回が初めて。

熊本県ではベトナム人が増加傾向にあり、現在6000人を超えるなど国籍別でベトナム人が県内最多の外国人となっている。このうち、在留資格では技能実習生が最も多いとされている。

同協会の初代理事長には、同県の国際協会で国際相談員を務めるレ・ティ・チャムさん(女性・44歳)が就任。協会では今後、ベトナム語教室やスポーツ大会を開催するなどして、在熊本ベトナム人と日本人との交流の場を設けていく方針。



<https://www.vietjo.com/news/social/220425122616.html>

インドからは初の農業技能実習生 2 人が知事訪問

2022/7/12

新型コロナの水際対策の緩和を受け、熊本県でははじめてとなるインド出身の農業技能実習生をこのほど玉名市の農業法人が受け入れ 12 日、実習生らが県庁を訪れて蒲島知事と面会しました。県庁を訪れたのは、インド出身のヨゲンドラ・プラタップ・シンさん（22）とポパット・シャハディウ・スリサットさん（22）の男性 2 人です。

2 人は 12 日、蒲島知事と面会し、ヨゲンドラさんは、「インドに帰ってから学んだ技術を使いたい」と述べました。また、ポパットさんは、「インドでは家族でサトウキビを作っています。熊本のミニトマトは美味しいです」と話しました。これに対し、知事は「熊本で多くの農業技術を身につけ、将来はインドと熊本の農業のパートナーとして活躍してほしい」と激励しました。

2 人は新型コロナの水際対策が緩和されたことから 4 月に来日し、5 月中旬から玉名市や阿蘇市の農園でミニトマトの栽培に取り組んでいて今後 3 年間にわたってミニトマトのほか、米や麦の栽培実習を行うということです。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kumamoto/20220712/5000016251.html>

技能実習生の支援必要 熊本知事が言及 乳児遺棄事件で

2021/7/22

ベトナム人技能実習生が熊本県芦北町の自宅で乳児の遺体を遺棄した罪で有罪判決を受けた事件について、蒲島郁夫知事は21日の定例会見で「望まない出産だったと思う。今回の事件のように実習生を追い込むことがないように相談窓口や職場環境を考えないといけない」と述べ、支援の必要性を指摘した。

報道陣の質問に答えた。蒲島知事は21歳の時に農業研修生としてアメリカに行った経験に触れ、「私は重労働で大変な状況だったが、県内にいる実習生には素晴らしい経験をしてほしい。今回、助けられる環境を作ってあげられなかったことは悲しい」と話した。

裁判では、実習生が「妊娠がわかったら帰国させられると思って誰にも相談しなかった」と主張。裁判長は判決で「（妊娠すれば）実際は仕事ができず、帰国に追い込まれてしまう。十分にサポートする制度もなく、実習生にとっては厳しい環境だった」と言及していた。



<https://gai-access.com/news2021072301/>